

やわらかくて

温かい餅に舌鼓



12月17日、栗山（緑台）の福祉作業所でもちつき大会が行われました。

3回目となる今回は、横芝日曜マーケット加工所（代表、伊藤洋子さん）の皆さんが臼や杵、材料を持ち寄って行いました。

「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声と共にもちつきは始まり、おいしそうなお餅が出来上がると、入所者一同歓声をあげて喜びました。

つきたてのお餅は早速、あんこ餅やきなこ餅、雑煮などにして参加した皆さんに振る舞われ、作業所の子どもたちも、やわらかくて温かい餅にみんなうれしそうに舌鼓をうっていました。

※ 横芝日曜マーケットからいただいた寄付金の一部を、福祉作業所社会見学、CDラジカセ購入に使わせていただきました。ありがとうございました。



臼と杵を使ったむかしながらのもちつきに子どもたちは大喜び



今年1年の幸せを願い

新年を迎えると多くのみなさんがまず行うことに、「初日の出」を拝むことがあります。ここ数年、屋形海岸を訪れる人たちも年々増えてきています。

大晦日の夜ふかして眠い目をこすりながらやって来た人も、町観光協会、商工会、生き活き横芝町まちづくり推進協議会のみなさんによる「甘酒サービス」とかがり火で、冷えた体を温めながら時を待ちます。

「ドドン」花火が打ち上げられ、東の空が赤く染まり始めると、雲間からゆっくり初日は顔を覗かせました。今年は雲が多く、日の出は少ししか見られませんでした。訪れた人たちは、それぞれの思いを胸に、今年一年の幸せを願い手を合わせていました。

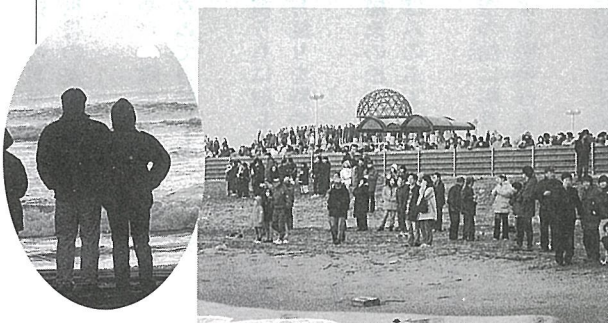


五穀豊穰・無病息災を祈願

1月18日(日)、屋形・四社神社で、神楽保存会のみなさんが今年一年の五穀豊穰と地域の人々の無病息災を祈って「里神楽」を奉納しました。

今年はいにくの雨模様となってしまい、元禄年間（1688〜1704年）に始められたと伝えられるこの伝統ある神楽は、神殿内で奉納されることになりましたが、熱心にビデオカメラを回す人、傘をさし「舞い」をカメラに収める人など様々な想いで見学するみなさんを前に、天狗や白女命、八幡神などの厳肅な舞いが演じられました。

湯立神事」の残り火の前で「今年はずっと寂しかったね。でも、豊作と豊漁を願うものだからね。大切にしなければ」と話す声も聞かれるなど、いつもの年よりも少なかった観衆がちょっぴり残念のようでした。来年は天気が良いといいですね。



それぞれの思いを胸に今年一年の幸せを祈る